

2011年度

事業報告書

公益財団法人都市活力研究所

目次

【公益事業1】 産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業	
1. バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズを育成する事業.....2	2
(1) バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズ育成(相談、助言).....2	2
2. 超高性能科学計算資源の産業利用を促進するための策を調査する事業.....2	2
(1) 超高性能科学計算資源の産業利用促進策の調査(調査、資料収集).....2	2
(2) 創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用促進に関する調査研究(調査、資料収集).....2	2
3. 新技術、新サービスの実現を加速するための事業.....3	3
(1) 実証実験プロジェクトの支援(相談、助言、コンサルティング).....3	3
4. 技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成及び人的ネットワークのあり方について調査を行う事業.....3	3
(1) オープン・イノベーション・モデルを支える専門的人材育成及び人的ネットワーク形成方策に関する調査.....3	3
5. 産業を振興するための教育及び社会の産業界への理解を深めるため啓蒙を図る事業...4	4
(1) セキュア・ネットワークセミナーの開催(講座、セミナー、育成).....4	4
(2) OACIS(オアシス)セミナーの開催(講座、セミナー、育成).....4	4
(3) アーバン・イノベーション・セミナー(産業分野)の企画・開催(講座、セミナー、育成) ..5	5
(4) スーパーコンピューティング・コンテストの開催(表彰、コンクール).....5	5
【公益事業2】 まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業	
1. 新たなまちづくりのあり方についての調査研究(調査、資料収集).....6	6
2. 都心におけるまちづくりの調査研究(調査、資料収集).....6	6
3. 郊外住宅地におけるまちづくりの調査研究(調査、資料収集).....7	7
4. まちづくりのセミナー開催(講座、セミナー、育成).....7	7
【その他事業】 産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業	
1. NPO 法人バイオグリッドセンター関西の運営支援.....8	8
2. 創薬バリューチェーン・プロジェクトの支援.....8	8
3. IT Keys 等の運営支援.....8	8
4. NEDO 講座の支援.....8	8
【法人管理】	
公益法人としての基盤整備.....9	9

事業の状況

【公益事業1】産学官の交流連携を促進するとともに人材育成、教育研修を実施することで、産業を振興し、地域社会の活性化を図る事業

1. バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズを育成する事業

(1) バイオ・ライフサイエンス分野におけるシーズ育成(相談、助言)

アカデミアの創薬シーズ、創薬基盤技術に対する評価を製薬企業などの専門家が
行い、研究開発の方向性についてアドバイスすることによる産学官の交流・連携の促
進を支援する「創薬シーズ相談会」を大阪医薬品協会の協力により実施している。2011
年度は、相談会を6回開催した。また、認知度の向上のためバイオ EXPO2011、
BioJapan2011での広報活動を行なった。さらに、シーズの収集域の拡大につとめ、事
業の定着を図った。

2. 超高性能科学計算資源の産業利用を促進するための策を調査する事業

(1) 超高性能科学計算資源の産業利用促進策の調査(調査、資料収集)

文部科学省を中心に、国内のスーパーコンピュータを結ぶネットワーク・インフラを構
築する構想(HPCI(ハイパフォーマンス コンピュータ インフラストラクチャ)コンソーシ
アム)が進められている。当財団では、そのネットワーク化された超高性能コンピュータ
の持つシミュレーション(模擬実験)やビジュアライゼーション(可視化)等の高度な科学
計算能力の産業への高度化方策並びに当該産業の国際競争力の強化方策に関する
調査を実施している。

2011年度は、超高性能計算機資源を様々な産業において活用するにあたり必要とさ
れる支援環境のあるべき姿、備えるべき機能、継続的な運営の仕組みに関する調査を
行うための取り組みとして、当財団の活動領域である創薬分野に関して調査するため、
NPO 法人バイオグリッドセンター関西が実施する「インシリコ創薬支援事業」を立ち上げ
ることとし、今年度はその企画立案、事業内容の精査等の支援を行なった。

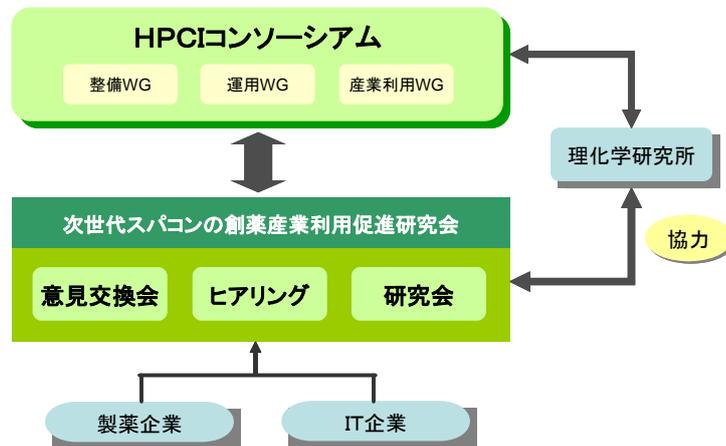
(2) 創薬分野におけるスーパーコンピュータの利用促進に関する調査研究(調査、資料収 集)

創薬におけるスーパーコンピュータの利用を促進し、新薬開発を加速するため「次
世代スパコンの創薬産業利用促進研究会」をNPO 法人バイオグリッドセンター関西、財
団法人計算科学振興財団、スーパーコンピューティング技術産業応用協議会とともに
立ち上げている。

2011年度も引き続き、製薬企業などスーパーコンピュータ・ユーザーとの意見交換

会、アンケート調査、ヒアリングなどを実施し、利用促進のための課題と解決策の調査研究を行った。

また、この調査成果は大阪大学大学院基礎工学研究科のセミナーに共催し、大阪と東京で発表した。さらに、HPCI 準備段階コンソーシアムの「産業利用促進検討ワーキンググループ」にも提供し、産業界にとって使い勝手のよい仕組みの構築に貢献した



次世代スパコンの創業産業利用促進研究会のしくみ

3. 新技術、新サービスの実現を加速するための事業

(1) 実証実験プロジェクトの支援(相談、助言、コンサルティング)

ICT (情報通信技術)、RT (ロボット技術) 等の研究開発やそれを活用した事業創出を目指す事業者に対して、梅田の商業施設の所有者等の協力を得て、実証実験の相談・助言及びその管理・運営のコンサルティング等を行っている。2011年度は4件の相談・助言を行った。

4. 技術革新や新たな価値創造を支える人材の育成及び人的ネットワークのあり方について調査を行う事業

(1) オープン・イノベーション・モデルを支える専門的人材育成及び人的ネットワーク形成方策に関する調査

① 起業家育成方策と育成環境に関する調査研究

ITベンチャーをはじめとする起業家支援を行っている(株)サンブリッジ・グローバル・ベンチャーズ(SGV)をオーガナイザーに、同社が運営するITベンチャーのコーワーキングスペース「グローバル・ベンチャー・ハビタット(GVH)大阪」を対象に、起業家育成方策と育成環境に関する実証的な調査研究を継続的に実施している。

(2011年度の具体的な取り組み)

- ・ 5月16日 ITベンチャーネットワーク形成のための交流イベント開催
 ゲストスピーカー SGVマイナー会長より話題提供、在阪ITベンチャー約30名が集まり、ネットワーキングを行った。

- ・ 8月1日から8月6日 jannovation week(起業家のシリコンバレー研修及びビジネスモデルコンテスト) 随行及びシリコンバレーの起業環境についての調査実施
起業家約40名とシリコンバレーにて現地起業家や起業家を支援する人々の講話を聴講、インキュベーションオフィスを訪問して、起業環境について学習するなど研修を行うと共に、最終日には参加者と現地起業家によるビジネスモデルコンテストを開催。同ツアーに同行し、シリコンバレーの起業環境についての調査を行った。研修の概要とここで得られた情報については、9月26日に報告会を行った。(聴講者40名)
- ・ 11月4日 グローバル戦略についてのセミナー実施
グローバルな事業展開をしている企業やそれら企業を支える機関の方を講師に迎え、グローバル人材育成の必要性について議論した。(聴講者245名)
- ・ 2月26日から3月3日 jannovation spring(学生アントレプレナー教育プログラム) 随行及びアントレプレナー教育についての調査実施。
起業志望の学生約40名とシリコンバレーを訪問し、前述の jannovation week に準じた調査を行った。3月30日に報告会を実施。(聴講者40名)

② オープンイノベーションを推進する次世代産業人材育成プログラムの実施検証
近畿経済産業局及び32社の企業コンソーシアムと共催で、大学生を対象に、次世代産業人材育成プログラムを実施し、次世代産業人材育成のあり方について調査した。(参加者延べ900人)

③ オープンイノベーションを促進する産学官連携のあり方に関する調査研究
駐大阪・神戸米国総領事館、大阪商工会議所、大阪市、大阪府等をオーガナイザーに、オープンイノベーションを促進する産学官連携のあり方に関する調査研究を行った。それらのうち、以下については広く情報発信を行った。

- ・ 1月23日 駐大阪・神戸米国総領事館と共催でソーシャルイノベーションに関するセミナー開催
スタンフォード大学より講師を、ソーシャルイノベーション大阪よりモデレーターを招き、ソーシャルイノベーションとそれが起こりやすい環境整備についてのディスカッションを実施。(聴講者90名)
- ・ 3月23日 大阪商工会議所と共催で国際的産学連携のあり方に関するセミナー開催
英国オックスフォード大学の知財を管理するISIS イノベーションアジア代表をキーノートスピーカーに、産学連携の成功事例を持つ民間企業、大学教授、英国領事館領事館よりパネリストを招き、国際的産学連携のあり方と関西における産学連携の強みと課題についてディスカッションを行った。(聴講者72名)

④ バイオ分野でのオープンイノベーション展開可能性の調査

バイオ分野においても大阪でのオープン・イノベーション・モデルの展開可能性を模索し、産業振興に資するため、バイオ・創薬に関わる専門家をメンバーとした研究会を組織し、調査活動を開始した。国の諸施策の問題点や、産学連携において各関係機関が抱える問題や課題を議論し、年度末に日本バイオインフォマティクス学会主催のシンポジウムにて調査活動報告を行った。

5. 産業を振興するための教育及び社会の産業界への理解を深めるため啓蒙を図る事業

(1) セキュア・ネットワークセミナーの開催(講座、セミナー、育成)

今後のセミナー開催の方向性について大阪大学サイバーメディアセンターと協議の上、目的に沿った最適なプログラム内容について検討中である。

(2) OACIS(オアシス)セミナーの開催(講座、セミナー、育成)

大阪大学の産学連携の取り組みであるIT連携フォーラムOACISの社会人向けの教育・研修事業の運営支援を行い、情報ネットワークに関して基本技術編と最新

技術編を、ソフトウェア工学に関して最新技術編を開催した。

①基本技術編「情報ネットワークの基本技術」

□日 程:2011年7月15日(金)～8月5日(金)5日間

□受講者数:34名

②最新技術編

「情報ネットワークの最新技術展望」

□日 程:2011年10月28日(金)、11月11日(金) 2日間

「ソフトウェア工学の最新技術展望」

□日 程:2011年11月18日(金)、12月9日(金) 2日間

□受講者数:39名(最新技術編全体)

(3)アーバン・イノベーション・セミナー(産業分野)の企画・開催(講座、セミナー、育成)

産業の活性化に関わる最新の動向を紹介するセミナーとしてアーバン・イノベーション・セミナー(産業分野)を次のように7回開催した。

①「大阪でのRT、ITを活用した街サービスの開発実証を振り返る」

□日 程:2011年5月18日(水)

□主 催:(財)都市活力研究所

□共 催:(財)大阪市都市工学情報センター、(財)大阪市都市型産業振興センター

□参加者数:89名

② 京速コンピュータ「京」と創薬・医療の産学連携セミナー(第1回・大阪)

-HPCI計算生命科学推進プログラム-

□日 程:2011年10月19日(水)

□主 催:大阪大学大学院基礎工学研究科(HPCI戦略プログラム分野1「予測する生命科学・医療および創薬基盤」教育プログラム)

□共 催:(財)都市活力研究所、NPO法人バイオグリッドセンター関西、(独)理化学研究所、大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

□参加人数:54名

③ グローバルベンチャー成功への道と大阪の可能性 (11月4日開催、前項4-(1)-①参照)

④ ソーシャル・イノベーション —地球規模の問題を解決するには?— (1月23日開催、前項4-(1)-③参照)

⑤ 京速コンピュータ「京」と創薬・医療の産学連携セミナー(第2回・東京)

-HPCI計算生命科学推進プログラム-

□日 程:2012年1月25日(水)

□主 催:大阪大学大学院基礎工学研究科(HPCI戦略プログラム分野1「予測する生命科学・医療および創薬基盤」教育プログラム)

□共 催:(財)都市活力研究所、NPO法人バイオグリッドセンター関西、(独)理化学研究所、大阪大学臨床医工学融合研究教育センター

□参加人数:95名

⑥ 関西における未来のICT産業を創出する事業戦略と企業連携

□日 程:2012年2月3日(金)

□主 催:(財)都市活力研究所

□参加者数:121名

⑦ 新たな産業創造を目指す国際的産学官連携のありかた (3月23日開催、前項4-(1)-③参照)

(4)スーパーコンピューティング・コンテストの開催(表彰、コンクール)

スーパーコンピューティングコンテストは、大阪大学、東京工業大学主催のもと、共催して開催する、高校生・高専生を対象にした高いレベルのプログラミング技術を競うコンテストである。本年度は、「第17回スーパーコンピューティングコンテスト

2011」として、その本選を2011年8月22日～8月26日に開催した。震災の影響で大阪会場のみで開催となったが、全国から予選を勝ち抜いた11チーム32人が参加し、大阪大学のスーパーコンピュータを用いて課題を解くプログラムを作成し、その解答の正確さ、速さを競った。

【公益事業2】 まちづくりを推進し、都市の活性化を図る事業

1. 新たなまちづくりのあり方についての調査研究(調査、資料収集)

関西都市圏と大阪都心の今後のあり方について様々な議論を行う都心戦略検討会を開催し、新たなまちづくりの調査研究を行った。本検討会については昨年度から企画、調整を行い、学識経験者、主要企業、行政の参加を得て実施した。東日本大震災を踏まえた関西の今後も新たな検討課題となり、産業・経済・文化などの講師をゲストスピーカーとして招聘しながら8回の開催を行い、報告書をとりまとめた。(とりまとめの第9回は4月に開催)

□検討会メンバー:

大阪工業大学 村橋 正武 教授、関西学院大学 角野 幸博 教授
西日本旅客鉄道株式会社、阪急電鉄株式会社、阪神電気鉄道株式会社
関西電力株式会社、大阪ガス株式会社
国土交通省近畿地方整備局、大阪市計画調整局、株式会社アークポイント

□実施内容:4月～12月、月1回程度開催

2. 都心におけるまちづくりの調査研究(調査、資料収集)

全国有数のターミナルであり大阪地域の今後の成長拠点を位置づけられている梅田地区をモデルに、都心のまちづくりに関する調査研究を行い、またその結果を広く関係者に情報提供した。

- ① 梅田地区の様々な施設の案内所の連携、サービス向上を目的に設置されたインフォメーション推進検討会(事務局は大阪地下街株式会社)に参加。財団は梅田地区の案内所(22ヶ所)へのアンケート調査を行い、問題・課題の整理を行った。
- ② 梅田地区の茶屋町、鶴野町のまちづくり団体である北梅田まちづくり協議会と今後のまちづくりについて意見交換を行った。
- ③ 財団ホームページにUIIまちづくりinfoを開設した。さらにまちづくりの最新動向を紹介するレターを定期的に発行し、メールニュースとしてこれまでの財団のセミナー参加者などに配信した。本年度はレターを4回発行した。(本年度末での配信先は約930名)

第1回(7月):九州のリーディング都市・福岡の《いま》・《むかし》、そして《未来》への挑戦

第2回(8月):環境モデル都市横浜が目指す低炭素都市構造への転換について

第3回(10月):毎日放送のホワイトスペース特区への取り組み～社会インフラとしての放送～

第4回(2月):大阪・関西のまちづくりは「創造的再生」を目指そう

3. 郊外住宅地におけるまちづくりの調査研究(調査、資料収集)

郊外住宅地のまちづくりの実践的な調査研究に取り組んできており、本年度も彩都における健康・スポーツをテーマとしたまちづくりについて大阪保健医療大学と連携した取り組みの検討を行ったが、最終的に具体化には至らなかった。彩都(国際文化公園都市)建設推進協議会関連と連携したスポーツ・イベント開催については彩都西公園の全面オープンに合わせて2012年6月に開催することとなった。

今後、彩都に限らず、大学減少・都市のコンパクト化が進む中でのこれからの郊外住宅地のあり方の調査・研究の検討を行った。

4. まちづくりのセミナー開催(講座、セミナー、育成)

調査研究の成果や、都市・まちづくりの最新動向の紹介をテーマとし、広く一般に向けて情報発信を行うため、アーバン・イノベーション・セミナー(まちづくり分野)を開催した。

① 「日本の復興と関西の役割」

□日 程:2011年10月6日(木)

□主 催:財団法人都市活力研究所

□後 援:国土交通省近畿地方整備局、大阪府、大阪市
公益社団法人関西経済連合会
財団法人大阪府都市整備推進センター
財団法人大阪市都市工学情報センター
財団法人大阪21世紀協会

□実施内容:

第1部 講演「日本の復興と関西の役割」

早稲田大学 教授

伊藤 滋 氏

第2部 パネルディスカッション「伊藤先生にきく」

□参加者数:216人

② 研究交流セミナー「これからの郊外と鉄道」

「鉄道とこれからの沿線まちづくり～東急電鉄の沿線事業展開～」

□日 程:2012年2月27日(月)

□主 催:社団法人 都市住宅学会 関西支部 公益財団法人都市活力研究所

□実施内容:

・ 基調講演「東急電鉄の沿線事業展開」

東京急行電鉄株式会社 都市生活創造本部

事業統括部 企画開発部 主査

大野 武志 氏

・ パネルディスカッション「鉄道とこれからの沿線まちづくり」

□参加者数:130人

【その他事業】 産業とまちの活性化のために実施する公益事業をより有効なものとするための補助的事業

1. NPO 法人バイオグリッドセンター関西の運営支援

2011年5月28日(土)の第8回総会およびバイオグリッド研究会開催をはじめ、事務局として、バイオ研究者や製薬企業・ICT・バイオ関連企業関係者の交流事業やプロジェクトメイキングの支援を行った。

2. 創薬バリューチェーン・プロジェクトの支援

コンピュータを活用した創薬の研究開発プロジェクトである創薬バリューチェーン・プロジェクトを引き続き推進した。

①抗がん剤開発プロジェクト(厚生労働省予算、2006～2010年度実施済)

後継プロジェクトとして独立行政法人科学技術振興機構の研究成果最適展開支援プログラムA-STEP等に申請したが、採択にはいたっていない。

②知的クラスター創成事業プロジェクト(文部科学省予算、2007～2011年度実施)

感染症の原因である黄色ブドウ球菌を死滅させる化合物及びマラリア原虫の必須アミノ酸合成を阻害する化合物の探索を行った。

3. IT Keys 等の運営支援

IT Keys は、情報セキュリティに関する実践型人材の育成を目指して、関西圏の情報系4大学が、4団体・企業の協力得て構築した、融合連携型の大学院の教育コースであり、2011年度は文部科学省の補助期間(2007～2010年度)終了後の初年度となるが、引き続き、運営委員会や演習を中心にプロジェクトの運営管理をサポートした。

同じく、高度なソフトウェア技術者の育成を目的として、IT Spiral の運営支援を行った。

4. NEDO 講座の支援

東京大学・京都大学・大阪大学の3拠点が連携し、創薬に資する基盤技術に関して、人材育成を通し産業界に還元する目的で実施している蛋白質立体構造解析 NEDO 特別講座のホームページの運用に関する支援業務を行った。

【法人管理】 公益法人としての基盤整備

会計区分の変更やコンピュータシステムの移行など、平成 20 年度会計基準への適応を進めるとともに、理事会、評議員会の適法運営に努めた。

理事会・評議員会等

会議名	開催日	議案	
1回理事会	2011年5月23日	1	第1回評議員会招集の件
2回理事会	2011年6月20日	1	2010年度事業報告書並びに決算報告書承認の件
		2	評議員選定委員会委員選任の件
		3	評議員候補者1名選出の件
		報告	業務執行状況報告
1回評議員会	2011年6月20日	1	2010年度事業報告書並びに決算報告書承認の件
		報告	業務執行状況報告
3回理事会	2011年11月7日	報告	業務執行状況報告
4回理事会	2012年3月12日	1	第2回評議員会招集の件
5回理事会	2012年3月26日	1	2012年度事業計画書並びに収支予算書承認の件
2回評議員会	2012年3月26日	1	2012年度事業計画書並びに収支予算書承認の件